

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	令和4年度 第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会
開催日時	令和4年8月19日(金) 午後2時から午後3時まで
開催場所	加東市役所 3階 301・302会議室
議長の氏名(会長 梅野 巨利) 出席委員の氏名 <出席委員> ・梅野 巨利 ・小倉 康 ・神田 耕司 ・鷹尾 良晴 ・吉田 伊佐見 ・臼井 すず子 ・丸山 美智子 ・肥田 繁樹 <欠席委員> ・小林 邦子 ・村上 加奈子	
出席した事務局職員の氏名及びその職 ・市長 岩根 正 ・技監 野崎 敏 ・上下水道部長 小坂 征幸 ・上下水道部管理課長 阿江 英俊 ・上下水道部工務課長 西角 昌記 ・上下水道部工務課副課長 荻野 克弥 ・上下水道部管理課係長 遠藤 祐希 ・上下水道部管理課主査 神戸 幸子 ・上下水道部管理課主事 藤井 小夜	
傍聴者 なし	
1 報告事項 (1) 加東市水道事業及び下水道事業の取組評価 (2) 加東市水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の投資・財政計画の進捗状況 (3) アセットマネジメント計画策定に係る固定資産台帳データの整理結果 2 会議資料 【資料1】加東市水道ビジョン・下水道ビジョン評価総括表(令和元年度～令和3年度) 【資料2】加東市水道事業経営戦略・下水道事業経営戦略 投資・財政計画の進捗状況 【資料3】アセットマネジメント計画策定に係る固定資産台帳データの整理結果 3 会議の経過 ⇒別紙「令和4年度第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過」のとおり	
令和4年9月2日	会長 梅野 巨利 会長職務代理者 神田 耕司

(別紙) 令和4年度 第2回加東市水道事業及び下水道事業運営審議会・会議の経過

発言者	会議の経過 / 発言内容
委員	<p>1 開会 事務局より定足数の確認を行い、本運営審議会が成立することを報告した。</p> <p>2 会長挨拶 会長より開会の挨拶。</p> <p>3 市長挨拶 市長より開会の挨拶。</p> <p>4 報告・協議事項 (1) 加東市水道事業及び下水道事業の取組評価 事務局より、資料1に沿って、令和4年度当初予算の概要を説明し、その後に質疑応答を行った。</p> <p>資料 p.3 (水道) と、p.11 (下水道) のBCP策定については、「今後の方向性」欄の、予定を示す矢印が前期(平成31年度～令和3年度の3年間)のみに引かれているが、今年度にBCP策定完了予定とのことであれば、矢印は中期にかかるのではないか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通りである。本図を訂正させていただく。</p>
委員	<p>「アセットマネジメント」という言葉がよく使われているが、下水道事業では、同じ表の中で、「ストックマネジメント」という言葉も使われている。両者の違いについて説明してほしい。</p>
事務局	<p>アセットマネジメントは、ヒト・モノ・カネの3要素について一体的に管理を行うもの。</p> <p>対して、施設の健全度・重要度を考慮した効果的な点検・調査を実施し、維持・修繕・改築など、計画的・効率的に施設管理を行うのがストックマネジメントで、下水道事業で2年をかけて計画策定しているものである。</p> <p>背景として、水道は厚労省、下水は国土交通省で、国から出される方針の違いもある。また、水道事業は独自に管理者を置いており人事権がある団体が多いが、下水道事業はほぼすべて首長が管理者であるため、人員配置は一般行政職と併せて検討され、下水道事業者の計画に沿わせることは難しい、という実情もある。</p> <p>こうした現状により、当市でも下水道はまず施設管理から、ということで「ストックマネジメント」を実施しているが、今後ここに「ヒト」の要素を取り込んでいき、最終的には人員配置や育成、技術の継承についても計画的に行うことを目指している。</p>

	<p>(2) 加東市水道事業経営戦略及び下水道事業経営戦略の投資・財政計画の進捗状況 事務局より、資料2に沿って説明を行い、その後に質疑応答の時間を設けた。 (質疑なし)</p> <p>(3) アセットマネジメント計画策定に係る固定資産台帳データの整理結果 事務局より、資料3に沿って説明を行い、その後に質疑応答の時間を設けた。 (質疑なし)</p> <p>5 その他 事務局より次回の審議会の日程等を説明。</p> <p>6 閉会 神田会長職務代理者より閉会の挨拶。</p>
--	--